

おいの図書館

No. 92
発行
代表
青木 和子
松本市牧の原1-104-416
TEL 0477-311-0886

浦安・松戸の

図書館見学

5月8日(土) 毎年恒例になって
いる浦安と松戸の市立図書館見学
会を行いました。

参加者は、これまで13回続けて
きたこの見学会中最高の28名(松
戸市議3名と、近隣の市議3名を
含む)プラス子ども10数名でした。
せっかくの機会ですので、皆様
に感想をお願いしました。以下に
ご紹介します。



特集!!

○現代において、また、未来社
会において、図書館の持つ意義
を再確認したり、再認識する事
ができました。

行政の力で、ぜひ、市民のニ
ーズに合う図書館の建設を願
います。

子ども達が、土・日の団体二
日制になっても、社会教育が充
実し、児童福祉館のような形で
のびやかに活用できるような施
設がほしいものです。

○相変わらず、常世田さんの話は

心に響き、ジャスト・タイム・ナ
ウな時期を得ています。

これ、浦安で学んだことを、地元
でどんな活動から活かして行くか
県の西部図書館という存在を含め
考えて行きたいと思えます。

○松戸市の頭脳を入替える秘策が
知りたい。

市川も図書館に力を入れている
と聞きますが。

10数年ぶりの浦安で、ショックは
大きく重く広がるばかり。

松戸が改革される時を見ること
が、私にできるのでしょうか。

○市外からの参加を快く受けて下
さう、あうがとうございませう。

昨年、流山の市議に初当選いた
しまして、今後の市政活動の力に
していきたいと考えます。

これからも、どうぞよろしくお
願い致します。

本日は大変参考になりました。
あいがとうございました。

〇グローバルな視点で、図書館の
重要性についてお話しいただき、
「目からウロコ」でした。

〇いろいろなお話、あいがとうご
ざいました。

何も考えず子育てする日々を反
省しつつ、お話を聞きました。こ
れからの生活の中で、自分に何が
出来るのか、何をするべきか、子
どもに何を伝えていけばいいのか
考えていかななくては……と感じま
した。

〇浦安の図書館のウワサは耳にし
ていましたが、自分ではなかなか
チャンスがなかったのが、企画に
加えて頂いてあいがとうございま
した。

斯くいう私も、近くの小々な分

館で時々読みたい本を借りられ
ればいいや、という程度の認識
しか持っていないだったので、今
日は「目からウロコ」の感があ
りました。

〇心からの世の中の変化に対
応するためにも、図書館の様々
な利用法を充実させていく必要
があり、そのことを自治体に要
請していかなくては、と思いま
した。私達の年代では、ビジネ
スというより、気分の良い充実
した余暇を過ごすためという意
味が強くなるでしょうが。

〇ためになった。
松戸は、どうする？

〇ときわ平幼稚園では、わらべ
うた・ことばあそびつたなどで
「ことば」があふれていますか
地域を員渡すと、貧しい状況で
あると実感しています。

我が家では、小金原分館が近い
ので時々利用しますが、子どもが
読みたい本は、たいてい予約、し
かも所蔵が少ないので時間がかか
る。読む気が萎えてしまう。そこ
にいらっしやる職員の方も、調べ
たい本は機械で調べて下さいとい
うような態度で、少しがっかり。
ことばの渡し手としての司書の方
の充実を期待しています。

〇今日は、浦安図書館の宣伝だけ
に終わらず、日本経済をもとらえ
たお話に、主人にも聞いてほしか
った、一緒に来られればよかった
と思いました。勤め人は意外に孤
独なものだなあと、いつも感じて
いるので、情報を自分のものにて
きる機会が図書館という場で増え
ると、本当に良いと思います。

〇浦安図書館のすばらしい運営に
驚きました。

図書館で得た情報がビジネスに

利用されたり、レファレンス・サービス、インフォームド・コンセントに感動しました。

○自分の自治体に、どれほど、いい図書館をつくらうと考えている方がいるのでしょうか。とても不安になりました。

自分も、少しずつ、図書館の運営について考えていきたいと思いましたが。

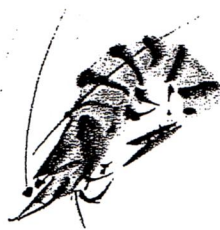
○私は、小学4年生・2年生・幼稚園の年中の3人の子どもを持つ母親です。

今日、お話をうかがうまでは、図書館は、子どもと楽しむ絵本を借りるだけのところ、というイメージしか持っていませんでしたが、「目からうろこ」というか、もつとすばらしい利用法があるんだと気がつきました。主人にも伝えたし、4年生の子どもとも違った

形で図書館を利用できるなあ、と思いました。

浦安の図書館の方の素晴らしい活躍にも驚くとともに、これからも頑張っていたらいいと思います。

もちろん、松戸にも、ぜひ、このような図書館を作っていたきたいと願います。



○IT時代、図書館が個人の情報格差を縮めるのに役に立つ時代というのは理解できます。ただ、どうやってその図書館へやってくるかという地理的な問題を考えると、分館というシステムをもっと上手に利用できないものかと思えます。

市民の方に、レファレンスと

は何か、レファレンスの存在を知ってもらうのにどうしたら良いのかなど、課題もたくさんあるのだと、しみじみ……

○松戸と浦安の図書館の違いが、よくわかりました。

図書館の役割から、子どもの言語能力の話、自己判断・自己責任の話へと広がり、面白かったし、とても有意義でした。

娯楽以外にも図書館を利用するようにしたい、と、思います。

○図書館のイメージを大きく変えるお話で、とても勉強になりました。

今から、自分自身も、色々な事について勉強をする必要性を感じました。

松戸市の図書館をどうやってたら浦安図書館のように変えられるかを、自分なりに考えていきたいと

思います。

○情報社会に於ける図書館の役割の重要性という見方は、今まで、ほとんど考えておりませんでした。ビデオの中のサラリーマンと同じ)

子どもたちに良質な本を、という考え方にとどまらない、図書館のこれからの方角、あるべき姿を見た気がいたしました。

参考にする、という程度のものではなく、実際に作っていかねければならない、という事を、強く感じました。

ありがとうございます。



○今回で何回目か、忘れてしまいました。が、今度もまた新しい事を教えていただきました。

図書館のできる可能性が、どんどん実現されていると感じました。

でもそれは、個人の「自己判断・自己責任」の必要性がどんな広がりつつあるからであつて浦安が特異であつたり、奇蹟であつてはいけなひのだと思ひます。松戸にとつては、遙かな厳しい道のりですが、地道に地道に行くしかありません。

しかし、今回も、初めて見学された方がほとんどで(それも子育て真っ最中の方々!)大いに希望も持てると思ひました。理想は高く、行動は地道に行つていきたいです。



後記

今回は、多くの子どもたちの参加があり、少々不安もありましたが、さすがに日頃から本に親しんでいる子がほとんどだった所為此こちらの心配が杞憂に終わったことを、本当に嬉しく思ひます。

浦安図書館の方も感心しておられました。が、ときわ平幼稚園での長年にわたる実践が見事に実を結んでいる事を、実感させられました。

とても良い見学会ができたことを、ご参加下さった皆様様に感謝申し上げます。

(青木 和子)

